

教育目標 たくましく伸びる子ども

重点目標：自ら考え 行動する
・相手意識 ・自分から ・粘り強く

図書館教育のねらい

図書館の利用指導や読書指導を通して、望ましい読書の習慣や図書利用の態度を身に付ける。

	低学年部指導の重点	中学年部指導の重点	高学年部指導の重点
読書指導	・読みたい本を探し、楽しく読む。	・読み物の幅を広げる。 ・終わりまで読み通す。	・教科書関連など、目的をもって本を選び、考えを広げたり深めたりする。
活用指導	・本の取り扱いや図書館利用のマナーを知る。	・参考図書(辞書・辞典・年鑑等)の使い方を覚え、本を活用して調べ学習をする。	・目的に合わせ、様々な分野の本を選んで活用する。

図書館教育 指導の重点

読書センターとして	学習センターとして	情報センターとして
○環境整備の面から ・書架の配置や掲示の工夫 ・必要な図書資料の充実 ○読書意欲を高める工夫 ・推奨図書や教科書関連本の整備 ・縦割り班を活用した全校での読書活動の推進 ・委員会活動や読書週間の充実 ・職員による読み聞かせの実施	○司書と担任との連携 ・レファレンス体制の整備 ・調べ学習についてのオリエンテーション	○公共図書館との連携 ・学校図書館支援センター職員への協力依頼 ・関連図書の収集依頼 ○司書と担任との連携 ・レファレンス体制の整備

各教科	道徳	特別活動	総合的な学習の時間
・学習に関連した本を読み、知識を広げようとする態度を育てる。 ・必要な資料を集めたり、読み取ったりしながら、学習内容の理解を深める。	・読書を通して豊かな情操を育て、道徳的な実践力につなげる。 ・図書館利用を通して、公共施設利用のマナーを身に付ける。	・異学年集団のかかわりの中で、読書に関する見聞を広める。 ・図書委員会と連携し、朝読書や読書郵便などの活動を行い、委員会活動の活性化を図る。	・課題解決のための資料収集・選択・活用の力を身に付ける。 ・まとめ方や表現の仕方を身に付け伝え合う力を養う。